

SlackBot プログラムの報告書

2020/4/28

松田 陸斗

1 はじめに

本資料は、B4 新人研修の Ruby による SlackBot プログラムの作成の報告書である。本資料では、SlackBot プログラムの作成に関して、理解できなかった部分、作成できなかった機能、自主的に作成した機能を述べる。

2 課題内容

以下の 2 つの機能をもつ SlackBot プログラムを Ruby で作成する。

- (1) 任意の文字列を発言するプログラムの作成
受信した発言の中に”「hello」と言って”という文字列があった場合は、”hello”と発言する
- (2) SlackBot プログラムへの機能追加
Slack 以外の Web サービスの API や Webhook を利用した機能を追加する。

3 理解できなかった部分

- (1) local から Slack.com にポストリクエストを送るとエラーが出る

4 作成できなかった機能

- (1) Google が提供する API の OAuth 認証
OAuth 認証の設定がよくわからなかった。

5 自主的に作成した機能

- (1) 天気を取得する機能
任意の場所の天気を取得する。場所の名前には、予め登録されてある名前を指定する必要がある。トリガーとなる言葉は”「場所」の天気”である。
- (2) ニュースを取得する機能
最新のニュースを任意数取得する。検索したい言葉をダブルクォーテーションで囲むと、この言

葉に関するニュースを取得する．トリガーとなる言葉は，”ニュース”である．

(3) クイズを出題する機能

コンピュータに関するクイズをランダムに出題する．トリガーとなる言葉は”クイズ”である．

参考文献